

《課題名》 ColorDX® CCT-HD®を用いた緑内障における後天色覚異常の検討

《研究対象者》 滋賀医科大学附属病院眼科において、緑内障と診断され、2019年3月から4月までにColorDXを用いた色覚検査を施行された方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医大で既に保有している臨床情報（及び生体試料）を調査する研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報等の使用について、直接に説明して同意はいただきず、このお知らせをもって公開いたします。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

この研究への参加（試料・情報提供）を希望されない場合、あるいは、研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡ください。

（1）研究の概要について

研究課題名：ColorDX® CCT-HD®を用いた緑内障における後天色覚異常の検討

研究期間： 倫理審査委員会承認日（2019年 07 月 16 日）～2023年3月31日

研究機関・実施責任者： 滋賀医科大学 《所属》眼科学講座 《氏名》森 崇正

（2）研究の意義、目的について

《研究の意義、目的》

【背景】ColorDX® CCT-HD®（ColorDX）は色調やコントラストを段階的に変化させたランドルト環の向きを判読することで各々の錐体機能を個別に測定、評価する色覚検査用ソフトウェアであり、先天色覚異常の分類、程度を検出できるとされている。緑内障では後天的に錐体細胞が障害されることが報告されている。

【目的】ColorDXを用いて緑内障に伴う後天的な色覚異常を検討する。

【意義】今回、色覚異常という指標を用いることで緑内障における視力、視野以外の視機能の状態を評価可能か検討する必要があると考えた。

（3）研究の方法について

《研究の方法》

当院における診療録より情報を収集しColorDXの測定結果、および光干渉断層計での視神経線維層+内網状層厚との相関を検討する。

観察・検査項目

性別、年齢、既往歴、ColorDXの測定結果、矯正視力、眼圧、視野検査、光干渉断層計、石原式色覚異常検査表の結果、点眼の種類を収集する。

評価項目

主要評価項目：術前、術後1、3、6、12ヶ月、18ヶ月、24ヶ月、30ヶ月、36ヶ月の矯正視力、および眼圧を比較検討

副次的評価項目：術後の緑内障点眼使用率の検討、合併症の発生率

(4) 個人情報の取扱いについて

《個人情報の取扱いに関する記載》

研究にあたっては、個人を容易に同定できる情報は削除したり関わりのない記述等に置き換えたりして使用します。また、研究を学会や論文などで発表する時にも、個人を特定できないようにして公表します。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。

(6) 研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。

(7) 利用又は提供の停止

研究対象者又はその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される情報の利用を停止することができます。停止を求められる場合には、(2023年3月31日までに)下記(8)にご連絡ください。

(8) 問い合わせ等の連絡先

滋賀医科大学 《窓口所属》眼科学講座 《対応者氏名》森 崇正

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号： 077-548-2276

メールアドレス： hqophth@belle.shiga-med.ac.jp